

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M3140208	生命ホメオスタシス解析学 I (Homeostasis Analysis I)	専門科目 生命健康科学コース 専門分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	2	後期	火・2	手嶋 泰之、文室 知之、加藤 優子、高橋 尚彦、小宮 幸作、吉川 裕喜 内線：2701 E-mail：teshima@oita-u.ac.jp

**【授業の概要・到達目標】**

心電図、脈波、呼吸機能、特殊感覚（味覚、聴覚、嗅覚）、眼底、心臓および腹部超音波検査の実習を行い、心電図、脈波、呼吸機能の各検査で描出される波形について最低限の判読能力を身につける。心臓および腹部超音波検査では解剖知識に基づいた病態への理解を進め、学生同士で相互に被験者となって測定し、検査結果について考察する。機器の操作、被験者への検査説明など生理検査の円滑な進行に必要な技術・関連知識を修得する。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 生理検査の手法や臨床的意義を理解できる。	○					
2. 健常と各疾患の検査結果の違いについて理解できる。	○					
3. 生理検査で用いる機器の特性と原理について理解できる。	○					
4. 検査の安全管理や患者対応について理解できる。		○		○		

**【授業の内容】**

1	(学内実習) オリエンテーション：各実習項目の説明と進め方
2	(学内実習) 心電図検査 (安静 12 誘導心電図)
3	(学内実習) 心電図検査 (運動負荷試験)
4	(学内実習) 脈波検査
5	(学内実習) 呼吸機能検査 (換気機能)
6	(学内実習) 呼吸機能検査 (肺胞機能)
7	(学内実習) 特殊感覚検査 (味覚、聴覚)
8	(学内実習) 特殊感覚検査 (嗅覚)
9	(学内実習) 眼底検査
10	(学内実習) 超音波検査 (心臓) 1
11	(学内実習) 超音波検査 (心臓) 2
12	(学内実習) 超音波検査 (腹部) 1
13	(学内実習) 超音波検査 (腹部) 2
14	(学内実習) 検査結果の解析と評価 (総括) 1
15	(学内実習) 検査結果の解析と評価 (総括) 2

**【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】**

A：知識の定着・確認	○	予習、レポート作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生理学的な基本的手技を習得し、解析法を理解する。さらに実習を通してその原理を具象化する。</li> <li>・学生からの質疑に対して、ハンズオンで解説する機会を頻繁に設ける。</li> </ul>
B：意見の表現・交換			
C：応用志向			
D：知識の活用・創造			

**【時間外学修の内容と時間の目安】**

準備学修	実習書の事前学習 (30h)
事後学修	レポートの作成 (30h)

**【教科書】**

教科書は指定しない。実習前に資料（実習書）を配布する。

**【参考書】**

参考書は指定しない。

**【成績評価方法及び評価の割合】**

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4
定期試験	75%	○	○	○	
レポート	25%	○	○	○	○

**【注意事項】****【備考】**

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	手嶋、高橋、小宮、吉川（医師），文室・加藤（臨床検査技師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○	
教員以外の指導に関わる実務経験者	本学医学部附属病院の臨床検査技師	
実務経験をいかした教育内容	病院等において臨床検査技師および知識・技術に関する実務経験を生かし、実際の事例など取り入れながら講義を展開する。	
授業形態	対面	